

# Tsunagu【つなぐ】

2018  
3月

発行：特定非営利活動法人 がんとむきあう会 / 活動拠点：元ちゃんハウス

特集

## 金沢と東京・京都をつないで

設立から1年、元ちゃんハウスの今と未来

特定非営利活動法人「がんとむきあう会」は2017年12月2、3日、金沢市の元ちゃんハウスで同ハウスの1周年記念事業を開催しました。3日は毎年恒例の「金沢一日マギーの日」として、「マギーズ東京」常勤看護師の岩城典子さんと、がん患者と家族らを支援する「ともいき京都」運営メンバーの近藤めぐみさんを招き、がんとむきあう会理事長の西村詠子と「マギーズ東京、ともいき京都、元ちゃんハウスの今と未来」というテーマで意見交換しました。

金沢と東京・京都を結ぶ縁は、2010年2月に金沢市内で開催された市民公開講座で、がんとむきあう会の初代理事長・西村元一と、のちにマギーズ東京センター長・共同代表となる秋山正子さん、ともいき京都代表となる田村恵子さんが出会ったことで生まれました。3人が共通して抱いていたのは「病院の中だけでは、できることや時間に限りがある。患者さんやその家族を支援する場が院外に必要な。日本にも英国にあるマギーズセンターのような施設をつくりたい」という思いでした。

岩城さんは「相談者の語りから見える”がんの旅路”として、マギーズ東京を訪れた方が自分の感情に気づき、自分らしさを取り戻していく様子」を、近藤さんは「がんの体験者は語り、対話し、相談することで生きる実感を得ておられます」とご紹介いただきました。西村は「地域に合ったがん患者の支援施設が必要です」と述べ、活動の広がりにも期待を寄せました。

2日は「料理教室」で煮豚作り、「まなびの教室」では眉の描き方や医療用ウィッグの特徴などについて理解を深めました。



元ちゃんハウスの1周年記念事業で語り合う、がんとむきあう会、ともいき京都、マギーズ東京の関係者

ご挨拶

### がんとむきあう会より感謝と2017年度の活動を報告



夫・西村元一は2015年3月に進行胃がんの診断を受け、「金沢にもマギーズセンターのような施設がほしい」という思いを更に強くしました。16年12月に皆様のご支援を得て、がん患者とその家族らのための支援施設「元ちゃんハウス」がオープン。患者さんとその家族や友人が集い、全国から見学の方が訪れ、人と人とのつながりが生まれています。夫は17年5月31日に亡くなりましたが、最期まで「がんを受け入れられているのは、支えてくれる人がいるから」と実感することができていたように思います。ありがとうございました。

理事長職を夫から引き継ぎ、「元ちゃんハウスを、金沢の街にずっといつまでも」と願いながら、日々の活動に取り組んでおります。18年度は「がんとむきあう会」を認定NPO法人とし、活動の拡充を目指してまいります。さまざまなご寄附やご協力に感謝するとともに、一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 がんとむきあう会 理事長 西村詠子

### 元ちゃんハウス

月～金曜日の午前11時～午後3時／がん患者とその家族・友人に対する相談・支援。都合のよい時間に好きなだけ居られます。



### 金沢マギー

第2・4火、第1土曜日の午後1時～同4時／がん患者とその家族・友人が交流できる場。多職種のメンバーによる総合的な相談・支援。

### 金沢マギー まなびの教室

偶数月第1土曜の午後2時～／看護師（専門看護師、認定看護師）が、がん医療の知識についての講義や茶話会を開催。

### 金沢ときどきマギー



年間6回程度／スタッフが地域に出向き「金沢マギー」を実施。イベントも開催し、参加しやすい場を目指しています。

### 料理教室

第1土曜の午前11時～午後1時／がん患者とその家族・友人、スタッフらが料理を作り、食べながら語りあえます。（健康「食サロン」金沢市委託事業）



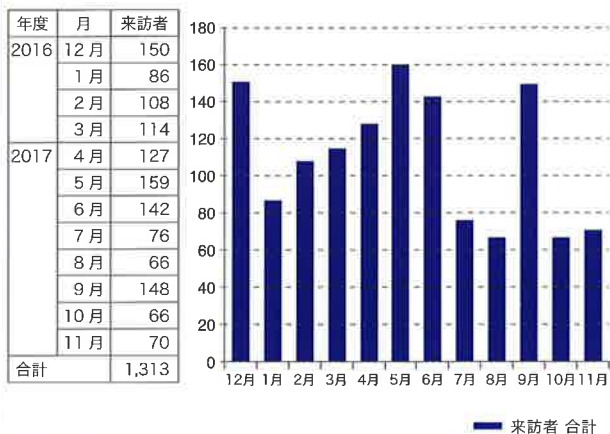
### 2018年度に向けて

地域に根差し、来訪者が健康や生活の悩みを相談できる「暮らしの保健室」の活動を計画。

## ようこそ！ 元ちゃんハウスへ

オープンから1年間で1300人を超える方が「元ちゃんハウス」に足を運んでくださいました。

元ちゃんハウス来訪者  
(2016年12月～17年11月)



### 来訪者の声

- A**さん  
主治医から治療に伴うリスクを告げられたのですが、深い部分までは理解できませんでしたので、ここを訪ねました。気が済むまで話を聞いてもらい、元気が出ました。また来たいです。
- B**さん  
がん拠点病院に近いので通院の行き帰りや、入院中にも来ることができます。明るい雰囲気、落ち着いて過ごせる場所ですね。スタッフの皆さんはいつも温かく迎えてくださり、ホッとします。
- C**さん  
ここに来れば、必ず学ぶことがあり、自分の経験談を何かのヒントにしてくださる患者さんもいます。語り合っただけで心が落ち着き、考えが整理できます。前向きに生きられるようになりました。

## Topics

### ピアサポーター研修会 ▶

「ピアサポート」とは、がん経験者や家族などがピア（仲間）としてほかの患者とその家族を支えることです。サポートする人を「ピアサポーター」といいます。がんとむきあう会では5月28日から全4回の日程で研修会を実施しました。第1回の講習はボランティア研修会を兼ねて開きました。



### がん患者への支援に関する協定 締結式



### ◀ 金沢市、金沢大学附属病院と三者協定

「がんとむきあう会」は、金沢市、金沢大学附属病院と「がん患者の支援に関する協定」を結びました。三者は協力してがんに関する啓発・啓蒙の充実を図り、退院後の患者の相談・支援を連携して進めます。2016年度は金沢医療センターと三者協定を結び、今回は2つめの三者協定となります。がん患者とその家族などの支援で、NPOが行政や病院と連携する取り組みは全国的にも珍しいといえるでしょう。

## Network



### ◀ 多職種研修会

がん患者さんの在宅医療連携のための多職種研修会が5月14日にスタート、5回にわたって開かれました。講師の顔ぶれは、輪島市内にあるみんなの健康サロン「海風」代表の中村悦子さん、在宅ケア移行支援研究所「宇都宮宏子オフィス」代表の宇都宮宏子さん、東北大学院文学研究科実践宗教学寄附講座准教授の谷山洋三さん、医療法人藤仁会藤立病院院長の上田章人さん、造園設計士の中村彩さんです。

### 元ちゃん FOREVER ▶

西村元一を偲ぶ「元ちゃん FOREVER」を7月22、23日に開催しました。西村とNPO法人ささえる医療研究所の村上智彦理事長は、同時期にがんを発症したことが縁で絆を深めてきましたが、村上理事長も西村と同じ2017年5月に亡くなりました。2人を知る関係者は、札幌市内で開催されている在宅医療カレッジの会場と元ちゃんハウスをビデオ通話で結び、思い出を振り返りました。



### ◀ 北陸初、「がんノート」公開生放送

がん経験者によるがん経験者のためのインタビュー情報サイト「がんノート」の北陸初となる公開生放送が11月26日、元ちゃんハウスで行われ、甲状腺がん経験者で看護師の樋口麻衣子さんが自身の体験を語りました。

## ありがとうございました！

### エレベーターを改修、3階中庭を癒しの空間として整備しました ▶

元ちゃんハウス運営基金にご寄附いただいたみなさまのおかげで、大事な施設整備が進められています。一番の懸念事項だったエレベーターですが、建設時から年月が経ち、交換部品が入手できなくなるという危機を迎えていました。費用を抑えるためにカゴはそのまま利用し、モーターや制御基盤、ブレーキ等を全交換して新しく生まれ変わっています。また、マギーズの大切な建築概念の一つに「安全な（中）庭がある」という項目があります。元ちゃんハウス3階には中庭があり、この場所を自然（外部）と繋がる大切な場所として整備したいとずっと願っていました。造園設計士・中村彩さんの協力を得て、素敵な癒しの中庭が整備できました。ご寄附いただいたみなさまのご厚意に本当に感謝しています。



■事業報告書等の公開について：事業報告書等は、毎事業年度3か月以内に所轄庁である石川県に提出しています。これらの情報は「内閣府 NPO ホームページ」で公開されています。以下をご確認ください。

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/>

## 元ちゃんハウスのご案内

元ちゃんハウスには異なる専門性や背景を持つメンバーが活動しています。

現在のスタッフの主な職種・資格など：

医師、歯科医師、看護師、看護教員、保健師、助産師、管理栄養士、フードスペシャリスト、ピアサポーター、臨床宗教師、建築家  
医療に関する知識・経験の有無に関わらず、「がんとむきあう会」は一緒に活動して下さる方を求めています！

元ちゃんハウスは予約不要・参加費無料 でご利用いただけます。

詳細な内容や、イベント・教室の予定はホームページのカレンダーでご確認ください。

### 1F コミュニティルーム

大きなテーブルが中央にある、地域に開かれたスペースです。医療・介護の専門職が常駐し、相談に応じていますので、気軽にお越しください。



### 3F サロンルーム

ゆったりとしたスペースに大きなテーブルやソファ、キッチン、和の空間が配置され、思い思いの場所で語り合うことができます。個室でのご相談も可能です。「金沢マギー」「まなびの教室」「料理教室」などの会場となっています。



### 4F セミナールーム

椅子とテーブルが配置され、最大で40人が受講できるスクール形式のスペースです。主催、共催する研修会などを実施しています。



## がんとむきあう会 お問い合わせ

Homepage : <http://gmk.or.jp>

Facebook : <http://www.facebook.com/gmk20>

920-0935 石川県金沢市石引 4-4-10 越屋メディカルケアビル

Tel / Fax. 076-232-5566 / Mail: [info@gmk.or.jp](mailto:info@gmk.or.jp)

#### 公共交通のご案内

金沢駅東口から「東部車庫行」  
北陸鉄道バス停「石引町」下車 徒歩1分(紫錦台中学校前)

#### 駐車場のご案内

午後からは、金沢医療センター、金沢大学附属病院のご厚意により料金の減額・免除がございます。  
有料駐車場は、石川県石引駐車場が徒歩3分です。

車でお越しの際はお問い合わせください。



## ご支援のお願い

- ①賛助会員(個人・団体)を募集しています。入会手続きはHPで、またはお電話でお申し込みください。
- ②「元ちゃんハウス運営基金」へご寄附をお願いします。下記の口座いずれかへお振り込みをお願いします。

▽振込先

- ・北陸銀行 (0144) 口座名 トクヒ ガントムキアウカイ  
金沢駅前支店 (305) 普通 6030033
- ・ゆうちょ銀行 口座名 ゲンちゃんハウスウンエイキキン  
【ゆうちょ銀行から】記号番号 00700-5-42088  
【他の金融機関から】店番 079 当座 0042088

▽お振り込み後、フォーム・メール・FAXのいずれかで、以下の項目をお知らせいただくと幸いです。

1. お名前 / 2. ご住所 / 3. ご寄附金額 / 4. お振込日 / 5. 領収書の必要な場合、その旨の記載とその宛先

\*2018年度に「税制優遇措置」が受けられる認定NPO法人格取得を目指しています。